

おはよ



兵庫県障害児学校教職員組合（障教組）
神戸市中央区北長挾通5丁目2-10
兵庫県高等学校教職員組合会館内
TEL (078) 341-6745

休暇や賃金に関わる最新情報を高教組HPでチェック



全職員版 NO.1 | 2022.2.10

1月は組合主催の大きな学習会が二つありました。誰でも参加できますという呼びかけにたくさんの方が参加され、有意義な学びができました。今回の「おはよ」はその学習会の報告をします。

卒業生に学ぶ 学校って？授業って？

2021年度ひょうご教育のつどい、二日目（1月23日）の障害児教育分科会は、標記のテーマでオンラインによるパネルディスカッションを行いました。

パネラーの安達先生（和田山特別支援学校）、小野先生（のじぎく特別支援学校）、栗田先生（西神戸高等特別支援学校）から、長く進路指導やコーディネーター、職業科新設校立ち上げ等に関わってこられた豊富な経験をもとに、卒業生から学ぶという視点で、様々な卒業生のエピソードや学校の現状等から、高等部段階での教育で大切にすべきことを語っていただきました。

それを受けて、50名もの参加者からは、進路指導をどう進めるべきか、重度の生徒にとっても自己決定、保護者の障害受容、不登校生徒について等、様々な質問や意見が寄せられました。

共同研究者の河南先生が体調不良により不参加となり、助言を受けることができなかったことは残念でしたが、「なりたい自分、やりたい仕事を出発点に、本人の願いやその根っこになるものを大切に」「本物の体験から得る本人の気づきを大切に」「保護者との連携、外部関係機関との連携が教師の視野を拓げ、価値観のぬり直していくことに繋がる」「卒業後の居場所、もしくは社会との繋がり的大切さ」など、貴重な言葉がたくさん語られました。私たちもまた、どんな願いをもち、子どもたちと日々向き合っているのか、自分の根っこを確かめながら、明日からまた頑張っていきたい、そう思うことができた2時間だったのではないのでしょうか。



なるほど手話 「手話で 歌おう」「楽しもう」

コロナ禍の中、子どもたちが大好きな歌が歌えなくて困っていませんか？歌う場面でCDの歌を聞くだけになっていませんか。思い切り声を出せない今、手話歌なら体全体で歌うことができます。発声や発語が難しい子どもでも、手、表情、体全体で歌を楽しむことができますよ。いつもの歌を手話で楽しんでみませんか。

*楽しい(嬉しい)：胸が躍る様子

*歌・歌う：ハーモニーの「は」の指文字が口から出る様子



楽しい(嬉しい) 歌・歌う
「楽しく 歌おう！」

障害児教育とは生きる希望を語ること

第21回全国障害児学級&学校学習交流集会 全体会より

メイン企画『創造していこう!子どもにあわせた学びを、そして学校を』において、月刊誌「みんなのねがい」にも連載されている伊藤比呂ニさんのお話を伺いました。自傷行為が激しい大吉くんにとって寄り添い、彼の「心の声(イヤの中にあるほんとはやりたい願い)」と会話しながら最後まで関わりきること、パニックになっても大丈夫という「安心感」、寄り添ってくれる人への「信頼感」、パニックになっただけで自分も駄目じゃないという「自己肯定感」が生まれていく。気持ちを誰かに受けとめてもらえたら、自分から折り合いをつけようとする。「より良い自分との出会い」が「自分で自分を支えたい」願いを高めていく。「何かができるようになった自信」ではなく、「生きてていいと思える自信」が自己肯定感の源となっている。

大切なことは、大吉くんは自傷をやめるまでになったから素晴らしい存在ではなく、自傷をとめられなくたって無条件で大切な存在である、と伊藤先生とのかかわりの中で彼自身が感じたことです。

最後に伊藤先生自身が始めて組合の学習会で聞かれた清水寛先生の言葉を紹介されました。「障害児教育とは生きる希望を語ること、生きる希望を培うこと、どんなに重い障害があっても、生まれてきてよかった、生きてきてよかった、生きていくんだという希望を語る実践を、今日、国語で、算数で、音楽で、養訓で、やってきているのか!それが教師にとって自らに問うすべてである。」

私自身の胸にずしんと落ちました。

今こそ、子どもの気持ちや発達を一番大切にする教育を
～つながりあい、学びあって、未来を切り開こう～



分会紹介 (あなたもぜひ仲間に!) *高教組 HP から仮加入できます

☆コロナに負けずに 力を合わせて☆ いなみ野特別支援学校分会

稲美町の豊かな自然の中にあるいなみ野分会です。

月に一度、分会会議を持って、今、子どもたちや私たちに必要なことについて話し合っています。児童生徒数増加による教室不足や給食供給数の限られた校舎の老朽化等とたくさんの課題のあるいなみ野分会ですが、粘り強く校長交渉や県交渉に課題の改善を訴えています。

また、今年度はコロナに負けず、リモート飲み会や昼食会も開催して、少る時間も作りました。これからは組合員力を合わせて活動していきます。



☆小さな分会ですが、頑張っています☆ 播磨特別支援学校分会

こんにちは!播磨特別支援学校分会です。分会員は教育棟職員にも寄宿舍職員にもいて、勤務時間が異なることもあって、なかなか揃って話し合うことが難しいのが悩みです。

は
い
ん



夏に小規模ではありますが、教員採用試験に向けて面接対策の会をしています。今年は久しぶりに職場要求書を作ることができました。日々の業務に追われ、大きなことはできていませんが、小さくても声を上げ続けることが大切と考え、これからも活動を続けていきたいです。

【2月の障教組】次年度に向けて、県教委に追加要求を提出しました。
感染拡大における職員の安全確保や休暇など、県に申し入れています。